

都市再生整備計画 事後評価シート  
(仮称)国際センター駅周辺地区

平成27年10月

宮城県仙台市

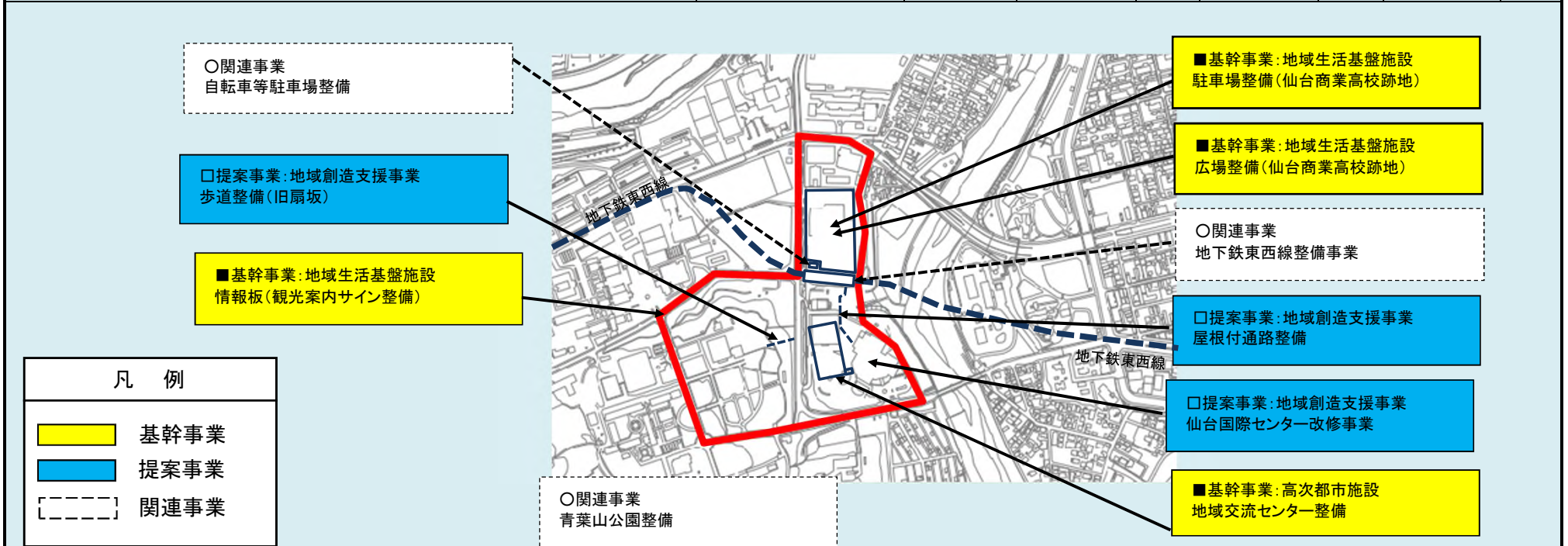
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県		市町村名	仙台市		地区名	(仮称)国際センター駅周辺地区		面積	19.7ha		
交付期間	平成25年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	2,370.4百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(広場、駐車場、情報板)、高次都市施設(地域交流センター)									
		提案事業	地域創造支援事業(仙台国際センター改修、歩道整備、屋根付通路)									
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		基幹事業	なし					なし			なし	
		提案事業	なし					なし			なし	
		新たに追加した事業	基幹事業	なし					なし			なし
交付期間の変更	当初	なし			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
	変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	施設利用件数	件/月	69	H24	74	H26		53	△	あり ● なし	仙台国際センターの施設整備・改修工事と国連防災世界会議開催に伴い、施設利用の制限が生じたため、本指標は達成できない結果となった。
指標2	計画地区施設利用者	人/月	51,048	H24	70,000	H26		70,692	○	あり なし	計画地区内の施設における魅力ある催事の開催及び一層の仙台の活用による周辺施設間の回遊性向上等が図られたことにより、目標を達成した。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1	仙台国際センター催事件数(5,000人以上のもの)	件/年	2	H24			8 (H27.8時点予約件数)			平成27年度末までの大型催事の予約件数は大幅に増加しており、まちづくりの目標の効果発現は見られている。	H28.5
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	平成27年度に入り、仙台国際センターでは大型催事の予約件数や上半期の利用者数の大幅増加など交流人口の拡大が見られる。											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし		
	住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし		

## 様式2-2 地区の概要

(仮称)国際センター駅周辺地区(宮城県仙台市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
<b>【大目標】</b> 新たな魅力を創造・発信する、杜の都 仙台のシンボルゾーンを目指し、東西線という新たな交通軸における広域的な集客・交流の拠点を形成する。 <b>&lt;目標1&gt;</b> 各種の展示イベント等の受け入れ環境を整備し、多面的な機能を有し、市民の文化的・創造的活動の拠点となるエリアを形成する。 <b>&lt;目標2&gt;</b> 仙台の歴史、自然、文化など「杜の都」の魅力を発信するとともに観光資源の充実を図り、新たな観光交流拠点を形成する。	施設利用件数	単位: 件/月	69	H24	74	H26	53	H26
	計画地区施設利用者	単位: 人/月	51,048	H20	70,000	H26	70,692	H26



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流センターや広場・駐車場の整備により、第3回国連防災世界会議の会場として使用されたほか、平成27年度に入り、仙台国際センターでは大型催事の予約件数や、上半期の利用者数の大幅増加が見られるなど、交流人口の拡大が図られている。</li> <li>・地下鉄東西線国際センター駅と仙台国際センター間をつなぐ屋根付通路及び仙台国際センターと東北大学川内萩ホールをつなぐ旧扇坂に歩道を整備し、回遊性のある快適な歩行者環境が実現した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄東西線開業を契機として、仙台国際センターの更なる利用促進に努めるとともに、本地区の内外で事業中である青葉山公園整備推進により、杜の都 仙台のシンボルゾーンを目指していく。</li> </ul>